

2020年3月31日

お客様各位

日本車輛製造株式会社  
機電本部 サービス部

## アースドリル機でのクレーン作業時ML設定切替の注意事項

謹啓

貴社、益々御清栄の段、お慶び申し上げます。又、毎々格別なお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年1月にED6200H-2L型アースドリル機で、クレーン作業時に転倒事例がありました。当該機の過負荷防止装置は、車両系基礎工事用機械のアースドリル機として使用する際に設定する「くい打ち」モードと、移動式クレーンとしてクレーン作業を行う際に設定する「ED補助吊」モードを選択設定するようになっていますが、切替え時の設定ミスで「くい打ち」モードのままクレーン作業を行って転倒に至った事例です。

弊社アースドリル機の過負荷防止装置は、車両系基礎工事用機械のアースドリル機として使用する場合にはブーム角度のみ表示され、ブーム伏せ等の制限は掛かりません。また、過負荷防止装置の外部表示灯が搭載されている場合でも、基礎工事用機械として使用する際には過負荷防止装置としては機能せず外部表示灯の「緑」が点灯した状態となります。よって、クレーン作業との切替えの際には確実に切替わったことを確認の上ご使用をお願いします。設定方法につきましては取扱説明書をご参照ください。

また当該ED6200H-2L型とED8200H型アースドリル機には、過負荷防止装置の外に、ブーム過巻の停止位置をアースドリル機として使用する際とクレーン作業を行う際とで設定するブーム過巻の切替えスイッチが装備されています。これは、アースドリル機として施工中はブームを可能な範囲で起こして安定度を確保しますが、クレーン作業時は吊りフックや荷役とケリーバやブームが干渉することを避けるためにブームの起こし角度を制限するものです。こちらの設定につきましては、転倒には直接影響しませんが、機械の損傷の恐れがありますので、切替えを確実に実施願います。

お客様各位におかれましては、運転されるオペレータ様はもとより、周囲の作業員各位におかれましても、当該機の取扱いについて、作業開始前のミーティング等で周知いただくとともに、始業前・月例・年次(特自検)の各点検時に合わせて安全装置の確認をお願いいたします。

現在、当該ユーザー様においては、再発防止策としまして外部表示灯の点灯条件を「緑+黄」の2灯同時点灯にすることでオペレータ以外の周囲の作業員でも視認できるようにすることを進めております。同様のご要望があれば個別に対応いたしますので、弊社サービスセンターまでご相談ください。

また、モード切替えの方法や、アースドリル機として使用時の各種設定や安全装置の作動領域設定など、より安全な機械を提供できるよう今後も検討を進めてまいります。

今後とも末永く、弊社製品をご愛用賜ります様重ねてお願い申し上げます。

敬 具